

令和6年6月
関西広域連合議会臨時会

報 告 書

令和6年7月3日

関西広域連合議会議員 岡 本 富 治
同 大 塚 明 廣
同 仁 木 啓 人

議 事 日 程

令和6年6月29日(土)

午後1時開議

- 第 1 諸般の報告
- 第 2 議席の指定及び変更
- 第 3 副議長選挙の件
- 第 4 会議録署名議員の指名
- 第 5 会期の決定
- 第 6 第10号議案（広域連合長提案説明）
- 第 7 第10号議案（監査委員の選任について同意を求める件）
- 第 8 一般質問

第 10 号議案

監査委員の選任について同意を求める件

次の者を監査委員に選任したいから、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 292 条において準用する同法第 196 条第 1 項の規定により、同意を求める。

令和 6 年 6 月 29 日提出

関西広域連合広域連合長 三 日 月 大 造

関西広域連合議会議員のうちから選任する者

森 山 賀 文

令和6年6月臨時会 質問項目一覧

	府縣市	質問者	質問時間	質問項目
1	和歌山県	小川 浩樹 議員 (分割)	16分	1 ドクターヘリ運行状況について
				(1) 運航停止中における出動要請について
				(2) 今後の取組について
				2 クビアカツヤカミキリの被害について
2	奈良県	小村 尚己 議員 (一括)	16分	1 関西広域連合のこれからについて
				2 大規模な広域防災拠点に関する検討について
				3 3巡目国民スポーツ大会について
3	徳島県	大塚 明廣 議員 (一問一答)	12分	1 大阪・関西万博における子どもたちに夢や希望を与える取組について
				2 能登半島地震を踏まえた南海トラフ巨大地震への備えについて
4	大阪府	中野 稔子 議員 (一問一答)	10分	1 日本版ライドシェアについて (意見表明)
				2 大阪広域データ連携基盤 (ORDEN) 共同利用の具体的方策について
				(1) 交付金活用を視野に入れたデータ連携基盤の共同利用について
				(2) デジタルサービスの共同利用について
5	大阪府	須田 旭 議員 (一問一答)	10分	3 関西における治験体制の整備について
				1 大阪・関西万博について
				(1) 機運醸成の取組について
				(2) 関西パビリオンにおける運営ボランティアについて
				2 海外からの観光客における関西各地への周遊促進について
				3 農林水産業に関する取組について
				(1) 「関西広域農林水産業ビジョン」の改訂について
(2) 農業・漁業の担い手拡大について				
6	大阪市	黒田 まりこ 議員 (一問一答)	12分	4 構成府県エリア内農産物を活用した学校給食について
				1 関西広域連合が目指すべき方向性について
				(1) 国への働きかけについて
				(2) 関西広域連合の事務のあり方について
7	堺市	三宅 達也 議員 (一問一答)	8分	2 MICE誘致について
				1 大阪・関西万博を契機とした来訪者の受入体制について
8	兵庫県	中田 慎也 議員 (一問一答)	10分	2 新たな特定外来生物の広域的な対策について
				1 大阪・関西万博の機運醸成について
				2 関西3空港の活性化に向けた取り組みについて
				3 リニア中央新幹線の事業計画について
9	兵庫県	高橋 みつひろ 議員 (一括)	10分	4 南海トラフ巨大地震への対応について
				1 北陸新幹線敦賀以西の米原ルートの新検討の可能性について
				2 農林水産分野での研究成果の共同利用について
				(1) 農林水産分野での産学官連携を含めた研究機関の連携強化について
				(2) 特許等の研究成果の共同利用について
10	神戸市	川内 清尚 議員 (一問一答)	8分	3 オーバーツーリズムと周遊観光推進について
				1 大規模災害時における医療提供体制について
				2 関西のポテンシャルを活かした水素エネルギーの利用促進について
				(1) 世界をリードするための利活用の促進
11	京都府	渡辺 邦子 議員 (分割)	16分	(2) 大阪・関西万博における発信の強化
				1 令和6年能登半島地震を踏まえた防災・減災対策について
				(1) 被災地支援で得られた教訓の活かし方について
				(2) 男女共同参画の視点に立った防災・減災対策について
				2 大阪・関西万博に向けた舟運を活用した観光振興について
12	京都市	棕田 隆知 議員 (一問一答)	8分	3 大阪・関西万博に向けた文化芸術分野の機運醸成等について
				4 ワールドマスターズゲームズ2027関西の機運醸成について
13	滋賀県	桑野 仁 議員 (一問一答)	16分	1 2025年大阪・関西万博会場におけるトイレの整備について
				2 北陸新幹線の延伸について
				1 北陸新幹線の全線開業について
				(1) 「人流・物流」と「関西経済」への期待する効果について
				(2) リダンダンシーの観点から期待する効果について
				(3) 全線開業に向けた関西広域連合の取組について
				2 いのち育む“水”のつながりプロジェクトについて
(1) いのち育む“水”のつながりプロジェクトの現状について				
(2) いのち育む“水”のつながりプロジェクトが目指す将来像について				
3 関西広域連合のバージョンアップについて				

本県選出議員の質問概要

大塚 明廣 議員

1 大阪・関西万博における子どもたちに夢や希望を与える取組について

(質問要旨)

大阪・関西万博では、「未来社会の実験場」をコンセプトに、テーマである「いのち輝く未来社会」を支える技術やサービスが提供される。

例えばその一つに、次世代のモビリティとして「空飛ぶクルマ」の飛行が予定されているところであり、「空飛ぶクルマ」には大きな可能性を感じている。

今後、実用化に進めば、離島や山間部など地理的条件に関係なくどこへでも行くことができ、さらに、安全安心な自動運転の技術が備われば、高齢の人や障がいのある人も好きな時に自由に移動し、誰もが積極的に社会に関わることができるようになる夢のある乗り物である。

このように万博というものは、新たな発想による技術や仕組みにより、世の中が変わっていくことを体験できる貴重な場であるため、入場料を無料にするなど子どもたちが入場しやすいように支援して、子どもたちには、「空飛ぶクルマ」をはじめとする未来技術を見て実感してもらいたいと思っており、子どもたちの豊かな想像力と発想力をかき立てる展示や建築物を巡りながら体験することにより、学校では直に触れることができない有用な経験となつて、子どもたちの将来の夢や希望につながっていくものと思う。

そこで、関西広域連合において、万博への出展を契機とし、子どもたちに未来の夢や希望を与えるようどのように取り組んでいるのか、伺いたい。

(答弁要旨)

○広域連合長（三日月 大造）

2025大阪・関西万博には、様々な夢を持って、取組を進めたいと思っている。

議員が例示された「空飛ぶクルマ」については、次世代の新技术として、大いに期待されており、万博の目玉事業の一つとして、準備を進めていると聞いている。

特に、子どもたちが最先端の技術に触れるということは、子ども自身にとっても、社会、日本、そして世界にとっても大変重要な機会だと思っており、そのためにも、安全に見ていただける環境整備や修学旅行等で来場できる仕組み作りに取り組んでまいり。

また、関西パビリオンについては、ゲートウェイとしての役割が果たせるように努め、多くの方々に見ていただき、将来の関西や日本、そして地球に対して、大きな貢献ができる機会となるよう取り組んでまいりたい。

本県選出議員の質問概要

大塚 明廣 議員

2 能登半島地震を踏まえた南海トラフ地震への備えについて

(質問要旨)

能登半島地震の被災地では、初動対応時に、発災後すぐに日没となったことや、停電や通信の途絶が広範囲で発生したことから被災状況の速やかな把握が困難であったこと、多くの道路が被災し、救命・救助のための人員の進出が困難であったこと、多くの孤立集落が発生したことなどが教訓とされ、とりわけ、避難所運営において、開設時にレイアウトが定められていないことやパーティションや段ボールベッド等が設置されていない、避難所に土足で入るなど感染症対策が十分でないといった事例や断水や避難生活の長期化による避難所環境の確保などに課題があったと聞いている。

そこで、これら能登半島地震で浮かび上がった様々な課題を踏まえ、関西広域連合として、切迫する南海トラフ巨大地震に今後、どのように備えていくのか、お伺いしたい。

(答弁要旨)

○広域防災担当 委員（齋藤 元彦）

関西広域連合では、能登半島地震発生後速やかに、被害の大きい奥能登6市町に対し、カウンターパート方式による支援を行った。

避難所支援をはじめとする各種支援に、延べ10万人の職員を短期派遣したほか、4月以降は、技術系職員等の中長期派遣を行い、現地ニーズに基づく支援を実施し、多くの教訓などを得ることができた。

また、本年6月の国が取り纏めた「令和6年能登半島地震に係る災害応急対応の自主点検レポート」においても、半島での被害対応上の課題として、「被災地の状況把握」、「道路等の被害による被災地への進入・活動の困難性」、「過疎・高齢化地域における多数の要配慮者への対応」、「インフラ・ライフラインの復旧の長期化に伴う影響」などが挙げられている。

これらの課題は、南海トラフ地震の被害想定などの見直しにも反映される予定と聞いている。

今回の震災で明らかになった様々な課題は、地勢的条件や社会状況の変化等を踏まえれば、関西広域連合構成府県域においても起こり得る事案であると認識している。

関西広域連合としても、国の被害想定などの見直しと連携し、構成団体において被災地支援を通じて得られた教訓、課題、気付きなどを収集・共有した上で、関西防災・減災プランの見直しに適切に反映していきたいと考えている。